



創刊号

1997.3.31

発行

都市生活地域復興センター

兵庫県西宮市津門西口町7-3

TEL 0798-36-6679

FAX 0798-36-5114

Email pancner@lib.bekkoame.or.jp



‘さくらんぼ’の突るとき

震災直後から伊丹市でボランティア活動を続けるグループ‘さくらんぼ’。今回はリーダーの城利子さんにこれまでの活動と今後の方向について聞いてみました。

震災直後、避難所や仮設住宅では老若男女多くの方が生活していました。半年、1年、2年……月日を経た今、仮設住宅ではお年寄りの姿ばかりが目立ち、まさに日本の高齢化社会の縮図を見ているようです。住宅の自力再建が困難な年金暮らしの人がほとんどで、核家族化が進む現代社会の中で「隣は何をする人ぞ」ではなく、人と人のふれあい、人のぬくもりが何より大事なことであるということに改めて気づかされました。私たちも確実に“老いる”わけで、今回の地震で浮き彫りになった高齢化社会は他人事ではないのです。自分自身の将来のためにも今布石を打っておこうと思っています。

最初に炊き出しを始めたのは西宮でした。その後私たちの地元伊丹でも何かできることはないかと思って伊丹市

役所へ問い合わせしてみたところ、避難所になっていた「あじさいセンター」と「池尻文化センター」を紹介されました。ここでの活動によって地域のさまざまな人々とのつながりが生まれました(注1)。活動は‘さくらんぼ’単独ではなく、自治会、婦人会、民生委員などと連携しながら行われました。これらの人々との交流の中から、避難所や炊き出し場所に行けない/行かない独居老人が地域に多数いることを知り、食事を家まで届けることもしました。また、民生委員Fさんのすすめもあって伊丹市社会福祉協議会(社協)にボランティア登録をしました(注2)。ちなみにFさんは今では生協都市生活の組合員です。

伊丹にも95年6月から順次5ヶ所に仮設住宅が建設され、私たちの活動の場も避難所から仮設住宅へと移行していきました。私たち‘さくらんぼ’では月1回ミーティングを行います。意見を交換し、情報の収集をはかり、皆で活動の内容を考えていきます。他のボランティアグループとの日程調整や仮設住民への情報伝達は社協が引き受けてくれます。こうして現在まで月1~2回のペースで昼食会を中心とした交流会を5ヶ所の仮設住宅で順次行ってきました。青空市も行っています。

私たちの活動資金は全国の友好生協からの義援金でまかなわれています。資金集めの心配もなく支援活動に専念できたことは何ものにもかえがたいものがあります。社協や仮設住民にもこの辺の事情は何度となく説明してきました。しかし、義援金の底も見えてきた現在、交流会の有料化も考えています。この2年間一緒にやってきた社協からは「社協の‘ふれあい予算’もあるのでそれを有効に使いたい。金があるからモノを配るとい

COCO 創刊号ができました

わけの分からないタイトルロゴは結局創刊準備号のままにしておくことにしました。紙面の内容は生協都市生活の生活応援部会の活動が中心です。今後にご期待ください。

毎月月末発行!

うことはやりたくない。ぜひ都市生活の活動に使ってほしい」との申し出があり、この4月の交流会から実費のみ社協に負担していただくことになりました。

3月には災害復興住宅に転出される方、自宅を自力再建された方の引っ越しが相次ぎ、2月、3月と5回にわたって各仮設住宅でお別れ会(お楽しみ会)を開きました。交流会を重ねるごとに生協都市生活の消費材のファンが増えてきていましたが、「復興住宅は集会所もあるし、是非また来てよ」との声もありうれしい限りです。伊丹では仮設住宅の統廃合が進み、今年10月には1ヶ所に集約されます。たとえ入居者が1人になってもこの活動は続けていきたいと思えます。また、復興住宅に転出して私たちがの交流会に参加して下さる方もおられ、必ず青空市で買い物もされています。高齢世帯の比率が高い復興住宅へも何らかの形でかかわっていけたらと思っています。(了)

注1 グループ‘さくらんぼ’のメンバー10人のうちボランティア経験のあるひとが半分、残り半分は初めての経験だそうです。

注2 社会福祉協議会(社協)は全国の自治体にあります。これらは社会福祉事業法にもとづく民間の社会福祉法人で、住民参加、住民主体の地域福祉を向上させるために人的、物的、財政的支援を行う団体です。伊丹社協の正式名称は「社会福祉法人伊丹市社会福祉協議会」で、震災関連の事業としては、ボランティア連絡会で組織された「ふれあい運営協議会」にてふれあい事業を計画コーディネートしています。

(構成 COCO 編集部)

4月の予定

■ポアイ手渡し共同購入■

毎週水曜日

(あまいる、神・中央区)

■「協同の苑」見学会■

3日(木)

■老人昼食会■

18日(金)

(わかほ、尼崎)

■車塚仮設交流会■

24日(木)

(さくらんぼ、伊丹)

まだまだ予定が入ります。詳しくは復興センターまで。

2400万人署名以後

去る2月20日、自然災害に対する保障制度の創設を求める2400万人の署名が内閣に提出されました。生協都市生活もこの署名運動に参加し、2万数千人の署名を集めています。この空前の成果によって、災害保障システムを新しくつくって阪神・淡路大震災にもさかのぼって適用すべきだという世論が確認されたと言ってよいでしょう。しかし、この運動はまだようやく第1歩を踏み出したばかりです。超えるべきハードルはたくさんあり、運動の主体もひとつではありませんから事態は複雑で分かりにくいものになっています。これらの問題点をこれから3回にわたってシリーズでスケッチしてみようと思います。

署名は何を要請しているのか

2400万署名の要請のポイントは審議会の設置です。内閣と国会のもとに審議会を置いて、あるべき災害保障システムについて意見を取りまとめよと要求しているわけです。具体的なプランはいくつか挙げられていますが一本化されてはならず、いわば「各論併記」の形です。これらのプランは基本的には地震共済制度と基金制度のふたつに分けられますが、詳しいことは次回以降



災害保障制度の実現を！

池田啓一

にゆずります。いずれにせよ審議会が設置されてオープンな議論がなされることが最も重要です。とはいえ、「本当に審議会なんてできるの？」「できるとしても、いつ？」という疑問が生じてくるのも無理はありません。しかし、この問題を論じる前にこれまでの運動の流れを今一度振り返っておく必要があります。ややこしい話ですがご辛抱ください。

どんな運動があるのか

現時点ではふたつの大きな流れがあります。ひとつは「自然災害に対する国民的保障制度を求める国民会議」という組織です。通常「国民会議」と呼ばれており、各種団体の連合体として昨年夏に成立しています。全労済協会、兵庫県、神戸市、連合、社会経済生産性本部、そして日本生協連などが主要な構成団体になっています。2400万の署名を集めた主体はもちろんこの国民会議です。生協都市生活やその友好生協も基本的には国民

会議の枠の中に入ります。なお、各都道府県にはそれぞれ都道府県民会議が組織されています。

もうひとつの流れは『被災者に公的援助を』市民＝議員立法実現推進本部に結集する市民と議員のネットワークです。この運動は昨年5月にスタートし、国民会議とは独立に成長してきたもので、作家の小田実さんが代表をとめています。こちらの運動のポイントは、市民の発議による法律案（＝生活再建援助法案）を議員立法で成立させようと呼びかけた点にあります。この法案には衆参両院で100人を超える議員が賛同しており、議員立法として今国会（6月で閉会予定）に上程できるかどうか焦点になっています。ただし、肝心の自民党議員の賛同者はまだ3人しかいません。

これらふたつの運動に加えてもうひとつ無視できない勢力に全国知事会があります。7月には災害保障制度について何らかの提言が全国知事会から出される予定です。全国知事会の提言によって制度案がほぼ出尽くすわけですが、国民会議の戦略の重点は署名によって確認された世論を知事会案が出る7月までにさらに具体的なものに仕上げていくという点に置かれています。（以下次号）



INFORMATION

■次号お知らせ□

今回のトップ記事では尼崎支部のグループ‘わかば’の活動を取り上げる予定です。仮設住宅も含めた地域のお年寄りのための昼食会をわかばが始めてからそろそろ1年が経とうとしています。この間の活動を通して解決すべき課題がだんだんはつきりと見えてきたように思われます。「悩みも多いけどとっても楽しい」わかばの活動の報告にご期待ください。

INFORMATION

Dairy Memo

2月の活動日誌

27日	交流会（西宮浜仮設、西宮市、by たまねきの会）
3月	
3日	交流会（池尻仮設、伊丹市、by さくらんぼ）
5日	ポーアイ手渡し共同購入（by あまいる）
6日	交流会（荻野仮設、伊丹市、by さくらんぼ）
12日	喫茶室（桃山台特別養護老人ホーム、神戸市垂水区、by がけ橋） ポーアイ手渡し共同購入（by あまいる）
13日	交流会（津門住江仮設、西宮市、by たまねきの会）
15日	第4回政策ワークショップ（公的補償を求める有志の会）
17日	交流会（北河原仮設、伊丹市、by さくらんぼ）
19日	青空市（西神第3・11仮設、神戸市、by えんどう豆） ポーアイ手渡し共同購入（by あまいる）
24日	老人昼食会（武庫之荘北会館、尼崎市、by わかば）
26日	ポーアイ手渡し共同購入（by あまいる）